

葛川木戸口集落の活性化の 取組について

葛川木戸口 自治会

葛川地域・木戸口集落について



エリア	名称	電話番号	営業時間	エリア	名称	電話番号	営業時間
仲平	① 騎街道 花折	食事処、軽食の販売	599-2808	町居	① 湖 八	民泊	599-2463
	② ルストデンバ	インドネシア伝統食材デンバの販売	599-2355		② 北村モーターズ	自動車整備、修理	599-2403
	③ 里の市	地元産野菜や加工品の販売	599-2358		③ 石楠花山荘	料理旅館、山菜・川魚・郷料理	599-2345
	④ 袖の道	喫茶、軽食、古道具販売	599-2524		④ 中西商店	酒、食品販売	599-2344
木戸口	⑤ レンタルハウス 葛川	レンタルハウス	577-1313	細川	⑤ 和美酒	そば屋	599-2344
	⑥ 竹取庵	陶器（梅呂岳）	599-2279		⑥ 花ひき	食事処、軽食の販売	09045032927
中村	⑦ 田辺造材	木工、雑貨、餅家、お菓子の販売	599-2410	梅ノ木	⑦ 風の館	貸し別荘	0668095730
	⑧ 山田香登店	酒、食料品、雑貨の販売	599-2026		⑧ 梅ノ木キャンプ場	オートキャンプ場	599-2032
	⑨ 比良山荘	料理旅館、山辺料理	599-2058		⑨ 森林キャンプ村	テント、バンガロー	599-2222
坊村	⑩ 茶坊	喫茶、軽食	599-2507	キャンプ	⑩ 滋賀商部森林組合 北事業所	テニスコート、グラウンドゴルフ	599-2156
	⑪ もくもく	地産・川魚料理	599-2525		約り	⑪ 遊漁券販売、つりぼり	599-2120
町居	⑫ マチイハウス	民宿	599-2670	⑫ 葛川漁業組合		つかみ取り（夏期のみ）	599-2121



交通のご案内

*** 車で**

- ・都市内から国道367号経由で約1時間
- ・琵琶湖大橋から約30分

*** JR・バスで**

- ・JR 湖西線堅田駅下車 江若バスで約50分（毎日運行）
- ・京阪出町柳駅から京都バスで約1時間（3/16～12/15の間、土、日、祝と8/14、15、16のみ運行）

集落の概要

	2015年	2010年	2005年
集落戸数	10戸	13戸	15戸
集落人口	17人	24人	29人
高齢化率	71%	67%	59%
葛川学区 (9町)人口	231人	286人	346人

国勢調査より



撮影:H29.1.18

○木戸口自治会

加入世帯16世帯 組数3 未加入世帯1

会長
副会長
会計

環境整備推進員
防火・防災委員
人権・生涯学習推進員
福祉委員（社協会長委嘱）
地域安全連絡所代表者
地域安全委員
交通安全推進委員
選挙推進委員（自治会長兼務）
役員選出協議委員
体育委員
農業組合長
区長
区長代理
女性部
老人クラブ理事
文化祭委員

○葛川学区自主防災会役員

木戸口自主防災会会長
情報班班長
情報班副班長
避難誘導班長
地域自主防災会代表
上記代表代行者
地域自主防災会情報班 班長
地域自主防災会情報班 副班長
地域自主防災会避難誘導班班長

平面図



航空写真(※)



平面図(※)

(※)国土地理院の電子地形図を使用したものである。 ⁴

集落の概要

- 集落で住んでいる家は12軒、住んでいない家は6軒(内、時々帰ってくる家2軒)。独居が5軒。1ターンは3軒(Uターンは過去に2軒)。
- バスは1日3便。デマンドバス。葛川小学校は17人、来年は1名入学、中学生10名。
- 農地はほとんどなく、屋敷廻りの家庭菜園。40年前は2町歩の水田があった。
- 森林は区、共有林もあるが、管理が出来ていない。杉などの針葉樹が多い。
- 河川との関わりは、3月～9月は溪流釣り、7月にアユ解禁。昔は鮎の解禁日は親戚が集まってお祭りのような賑わいがあった。遊漁者数はここ2～3年は変わらないが、日券購入者が減っている。葛川漁業協同組合員数は131名で高齢化が進行している。

○花見大会(4月下旬～5月上旬)
八重桜満開

○葛川祭り(7月18日)
地主神社に高張提灯を奉納



○鮎引掛けandバーベキュー大会
(9月上旬)

○紅葉GG大会(秋)
葛川森林キャンプ村

○合同餅つき大会(12月30日)
白餅、草餅、トチ餅

○初普請、初集会
新年会(1月2日)

課題と今後について

- 地域のリクレーションは、今後後継者を如何に巻き込むか、課題である。現在、後継者のいる家といない家は半々である。
- 8月15日のお盆は、毎年お祭りをしている。実家に家族が集まり、50~100人が泊りに来る。木戸口を出て行った人が帰ってきてもらうよう思い出作りを大切にしている。
- 生きがいと若干の収入のある何かをしたい気はあるが、女性だけでは出来ない。男性の協力が必要。
- 仲平で朝市をやっており、客が沢山くるので、葛川を通る人を止めて何かをやりたい。鯖街道沿いに花の木を植えた町おこしを考えたことがある。
- 自慢は、春の新緑、夏の透きとおった川、秋の紅葉、冬の雪景色と四季折々の山村独特の姿。自然と家屋の調和が美しくとれた日本的な集落。こういうものを何とか活かした取組みが出来ないか
- 葛川学区連合自治会、集落連携について